

平成29年にお寄せいただいた **寄付金2,816万4,000円(1,651件)**は、平成30年度の次の事業に活用しました！

## 成長する香川をつくるために 寄付額 5,881,000円

### ●「さぬきの夢」生産拡大事業

さぬきうどんのブランド化のため、「作付面積拡大、単収アップ」をスローガンに、その原料となる本県のオリジナル品種の小麦「さぬきの夢2009」の作付面積の拡大に取り組みました。

県内のうどん業界では、県産小麦を用いた、さぬきうどんのブランド化を進めるため、香川県がさぬきうどん向けに開発した、麵用小麦(さぬきの夢2009)を用いた小麦粉及びうどんの総称を「さぬきの夢」の名称でPRしています。



### ●香川印戦略的販路拡大事業

県産品のブランド力の強化と国内外での販路拡大を図るため、バイヤーとの関係強化等に取り組み、首都圏や関西圏、台湾・タイなど近隣アジア諸国やフランスにおいて香川県フェアを開催しました。



## 信頼・安心の香川をつくるために 寄付額 3,848,000円

### ●香川用水の水源巡りの旅事業



香川用水の恩恵や水資源の重要性についての認識を深めるため、県内の中学校が実施する早明浦ダムなどの香川用水関連施設の見学に要する経費の助成事業などを行いました。

30校・約4000人の生徒たちがダムを訪れて、水の大切さや環境とのかかわりについて学習しました。

### ●地域防災力強化促進事業

南海トラフ地震などの大規模災害に備えて地域防災力の強化を図るため、「共助」の要となる「自主防災組織」に対して結成やその活動の活性化を促進するための支援を行いました。また、県民いっせいで地震防災行動訓練「香川県シェイクアウト」の実施による県民の防災意識の向上対策や香川大学と地域防災対策に関する共同研究を行いました。



### ●がん検診受診促進事業



がん検診を受診しやすい環境づくりのため、乳がん月間である10月に「かがわマンモグラフィサンデー」を実施し、休日に県内各地で乳がん検診を行ったほか、「初めての子宮がん検診応援事業」では、大学・専門学校等において健康教育を行うとともに、検診車を派遣して子宮がん検診を実施しました。

## 笑顔で暮らせる香川をつくるために 寄付額 11,154,000円

### ●森とみどりの祭典開催事業

県民総参加のみどりづくりをより一層推進するため、みどりづくりから林業・木材の利用までの総合的な普及啓発イベントを開催しました。

### ●「さぬきっ子学力向上」事業

児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、児童生徒の理解の程度に基づく個に応じた指導などを実施する契機となるよう調査を行いました。



### ●瀬戸内国際芸術祭推進事業

「瀬戸内国際芸術祭2019」の開催に向けた準備を行ったほか、「ART SETOUCHI」活動として、過去の芸術祭作品の継続公開や、それらを活用したアートイベントの実施など、現代アートによる瀬戸内の島々の活性化を目指す活動を行いました。



### ●羽ばたけトップアスリート ジュニア育成事業

オリンピック等で活躍できる日本を代表するアスリートの輩出を目指し、ジュニア期からの発掘、一貫した育成、強化支援を行いました。「スーパー讃岐っ子育成事業」として豊かな素質を持つ小学生を発掘・育成するほか、「運動部活動強化事業」として中学・高校の運動部活動の活性化を図りました。



### ●香川丸亀国際ハーフマラソン大会開催事業

平成31年2月2日、3日、国内外のトップランナーを含む11,054人が参加し、好コンディションの中、レースを実施することができました。大会ゲストに金哲彦さん、有森裕子さんを迎えました。



### ●県庁舎東館耐震改修事業

香川県庁舎東館について、基礎免震構法による耐震改修工事を実施しています。(※今年12月頃、工事終了予定です。)

香川県庁舎東館は、1958年に竣工した日本の戦後モダニズム建築を象徴する建物で、設計者の丹下健三の初期の代表作です。



## 使途をおまかせいただいたもの(指定なし) 寄付額 7,281,000円

### ●瀬戸大橋開通30周年記念事業

本四3架橋のうち唯一の道路鉄道併用橋である「瀬戸大橋」が、平成30年4月に開通30周年という節目を迎えたことから、地元アイドルグループ「STU48」によるライブパフォーマンスを交えたキックオフイベントをはじめ、中四国最大級の花火大会や夏休みイベントなどの様々な記念事業を実施しました。

